

高校生と大学生が大洲の防災まちづくりを考えます 「野村・宇和地区におけるスタディツアー」の開催

肱川流域では、甚大な被害が発生した平成30年7月豪雨を契機として、緊急的な治水整備が実施され、河川激甚災害対策特別緊急事業による堤防整備等が完成し、治水安全度が向上したものの、気候変動等によって水害は頻発・激甚化の恐れもあり、そのリスクは依然として残ります。

そこで、大洲市における水害リスクを踏まえた防災まちづくりの推進を定着・継続する目的として、令和5年度より地元高校生と東京大学学生のワークショップや地域住民の方々を対象とした取組状況の報告会を実施しています。

このワークショップでは、肱川流域における水害の特性等を学ぶとともに、実際にまちを歩き、水害リスクを基に「何が課題となるか」、また、「どんなまちにしたいのか」を考え、意見を取りまとめているところですが、令和7年度も継続して取組を進めます。【別添1】

記

■肱川流域の水害リスクに関するスタディツアー（野村・宇和地区編）

1. 開催日時

令和7年11月1日（土） 13:00から17:00

2. 開催場所

乙亥会館（西予市野村町野村12-10）：集合場所

※詳細は【別添2】をご参照ください。

3. その他

報道関係者でご参加いただける場合、下記主な問い合わせ先に、10月30日（木）までにご連絡をお願いします。

■今後の取組予定

- ・東大洲地区におけるワークショップ 令和7年12月下旬予定
 - ・防災まちづくり報告会 令和7年3月上旬予定
- ※詳細が決まりましたら、改めてお知らせします。

【問い合わせ先】

国土交通省 大洲河川国道事務所 Tel: 0893-24-5188
副所長 高島 愛典 (内204)
●工務第一課長 小谷 精司 (内311)

●: 主な問い合わせ先

※本施策は、四国圏広域地方計画【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】の取組に該当します。

水災害リスクを踏まえた防災まちづくり

～ 若い世代とともに考え、みんなで担う水防災、きらめく大洲を未来へ ～

主催：四国地方整備局 大洲河川国道事務所

取組概要

大洲市では、平成30年7月豪雨による甚大な被害を受け、国・県・市が一体となった「肱川緊急治水対策」を実施しており、令和6年5月末に堤防整備等が完成し、治水安全度が向上したところですが、今後も気候変動の影響等により、[水害のリスク](#)は存在します。そこで、国土交通省大洲河川国道事務所では、大洲市や愛媛県、東京大学との連携により、『[地域の防災意識の向上と水災害リスクを踏まえた防災まちづくり](#)』に関する取組を令和5年度より実施しています。

※この写真は、令和5年度実施した大洲高校・大洲農業高校との防災まち歩きの様子です。

実施内容

実施年月		地元高校生とともに進めてきた防災まちづくりのあゆみ
令和5年度	令和6年 2月	大洲市・肱川流域の中流地区にてスタディツアーを開催しました！ 東大洲地区のまちあるきや、被災体験談を聞いて、グループワークを行いました。
	令和6年 3月	地元住民へ向けた報告会を開催しました！ 地元高校生や東大生が主体となり、各関係者による取組紹介や、パネルディスカッションを行いました。
令和6年度	令和6年 11月	大洲市・肱川流域の上流地区にてスタディツアーを開催しました！ 鹿野川ダム見学などのまちあるきや、被災体験談を聞いて、グループワークを行いました。
	令和6年 12月 令和7年 1月	大洲市・肱川流域の下流地区にてスタディツアーを開催しました！ 長浜地区のまちづくり見学や、グループワークを行いました。
	令和7年 3月	地元住民へ向けた報告会を開催しました！ 各関係者による取組紹介や、交流しながら学べるオープンハウス、パネルディスカッションを行いました。
令和7年度	令和7年 10月	大洲市・若者から地元住民へ — 「これまで」をともに振り返るWSを開催！ 東大洲・長浜地区にてこれまでの取組紹介・座学を行います。
	令和7年 11月	大洲市から西予市へ、流域全体へと視野を広げたスタディツアーを開催！ 野村ダム・田んぼダムを見学、被災体験談を聞き、グループワークを行います。
	令和7年 12月	スタディツアーを通して、自分のまちを“自分ごと”として見つめ直すWSを開催！ これまでの活動を振り返りながら、まとめのワークショップを行います。
	令和8年 3月	地元住民へ向けた報告会を開催！ オープンハウス・パネルディスカッションを通してこれまでの活動を報告します。



令和7年11月1日、肱川上流地域にて、流域治水の取組を学ぶスタディツアーを実施します。

本ツアーは、上流の取組や住民の思いを中・下流地域の住民が現地で体感し、「上流の行動が自分たちの安全につながっている」ことへの理解を深めることを目的としています。

野村地区では、平成30年7月豪雨の被災体験を語り部から伺い、野村ダムを見学。宇和地区では、地域の取組事例（田んぼダム）を視察し、肱川流域全体で防災・減災への意識を高める契機とします。

肱川流域の水害リスクに関するスタディツアー ～野村・宇和地区編～



被災体験談



上流域の鹿野川ダム



長浜大橋

※令和6年度に実施した防災まちあるきと、被災体験をされた方のお話を伺った際の写真です。

肱川流域の水害リスクに関するスタディツアー ～野村・宇和地区～

スタディツアーでは、肱川流域全体を通じて、現地にて肱川流域の水害特性等を学ぶとともに、野村地区・宇和地区を訪れ、平成30年7月豪雨での被災体験談を伺い、流域治水の取組を見学します。

日時：令和7年11月1日（土）13:00～17:00

会場：乙亥会館（集合場所）

住所：西予市野村町野村1 2 -1 0

主な参加者：1) 大洲高校の生徒
2) 大洲農業高校の生徒
3) 長浜高校の生徒
4) 東京大学の学生
5) 大洲市内の住民

時間	内容
13:00～	■開会
13:10～	①平成30年7月豪雨の被災体験談 （災害伝承展示室・まちあるき）
14:30～	②野村ダムの見学 ③田んぼダムの見学
16:20～	④グループワーク・発表
16:50～	■総評、閉会

